



らくぷらすラボ

久野さん(右)と完成した動画を確認するわたなべ代表(左)

通販サイトで情報発信し 顧客とのコミュニケーションを

わたなべ佳美代表が考案したオリジナルアイテムを商品化する「らくぷらすラボ」。2017年に開業し、自社で運営するネット通販サイトや大手ショッピングサイトで商品を販売している。

顧客とのコミュニケーションが図れる交流サイト(SNS)や動画で情報を発信し、顧客の要望に耳を傾けて商品作りに生かしたいという、わたなべ代表。マーケティングの知識を生かして、使う人にとってもっと役立つ商品の開発を目指している。



SNSや動画を効率的に作りたい

わたなべ代表が開発したヒット商品は、パソコンのマウスやゲームコントローラーの操作などをする際に指先だけが出せる手袋。販売開始から3年ほどたった頃、クラウドファンディングで多くの人から支援を受けて製造・販売し、大手ショッピングサイトでも販売数を伸ばした。

今後も新商品の開発を続け、販売していくには、情



商品をチェックして発送へ

報発信のスピードが重要になる。そのためにはSNSや動画を効率的に活用したいと考えた。

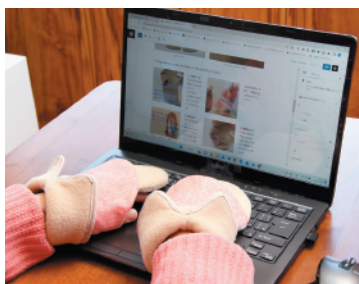
まずはマーケティングの知識から

効率よく情報発信業務をするためのツールなどを知るために、北九州市ロボット・DX推進センターの支援事業の利用を決めた。

専門家として支援を担当したのは、マーケティング支援会社「KACHI」の久野高司さん。わたなべ代表から現在の目標やターゲット層、顧客へのサービスなどを聞き取り、次の内容を支援した。

- ① WebサイトやSNSや動画ツールなどを活用するために、マーケティングの知識をレクチャー
- ② ①で明確になった課題から事業の方向性を整理
- ③ マーケティング戦略の整理
- ④ WebサイトやSNSの選定、アカウント運用の方針、動画の撮影・編集方法などをレクチャー

マーケティングの知識は専門用語などをなるべく避け、図解で分かりやすく伝えるように心がけたという久野さん。その上で、わたなべ代表の目的に沿った方法を一緒に考え、WebサイトやSNSアカウントを整理して最適化した。



久野さんのアドバイスで整えた通販サイト

目的を明確にして次のステップへ

わたなべ代表はマーケティングの知識を得たことで、次のステップを見失い壁にぶつかっていたことに気付いたという。「(SNSなどを活用するのは)サイト



らくぶらすラボ

代表者
わたなべ佳美

住所
北九州市八幡西区上上津役3丁目11-25

支援者
メッセージ

株式会社KACHI
(センター登録専門家)

久野高司さん

デジタルツールを使いこなしてほしい

マーケティングには業種、地域を問わず共通する考え方があること、デジタルツールは便利だけど手段でしかないことをまず伝えました。その理解が深まったところで、わたなべさんのケースやデジタル化の目的に沿った情報発信の方法を一緒に考えました。

支援後にはSNSアカウントの整理や動画編集ツールの活用も進んでいるようですし、とてもうれしいです。今後は目的に合わせて、デジタルツールを道具として使いこなしてほしいです。



株式会社 KACHI

住所:福岡市博多区千代4丁目29-49-5

事業内容:マーケティング・ファイナンス・人材マネジメントの専門ノウハウの提供 ほか

上でもリアル店舗で接客するように商品を説明する、お客さまの要望を聞いて商品を改良するなどができるから。その達成すべきステップがクリアになりました」と喜びの表情を見せる。その手段の一つとして、若いターゲット層向けに動画を撮影・編集して公開した。

今後の目標は、最近開設した商品開発サイトで顧客とコミュニケーションすること。

「試作品の使用感や色の組み合わせなどお客さまの意見を聞いて、一緒に商品を開発・改良していきたい」と胸を膨らませている。



動画
公開中



DXで変わる! 北九州市の企業
らくぶらすラボ編